

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	新販売制度普及促進事業			担当部局	医薬・生活衛生局			作成責任者	
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	総務課			課長 辺見 聡	
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			関係する計画、通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成25年12月に成立した改正薬事法等を踏まえ、一般用医薬品を対象とした新たな販売制度の普及及び適正な運用を図るため、優良サイトの認定・認証や多量・頻回購入などを防止するための措置の検討を行う。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)優良サイトの認定・認証 一般用医薬品のインターネット販売の安全性を確保するため、優良サイトの認定・認証制度の規格・基準等の作成を検討する。 (2)多量・頻回購入防止 乱用等の恐れのある品目がネットで購入しやすくなる懸念があることから、多量購入等を防止する取り組みを検討する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	9	9	0	0		
	執行額	-	9	0	-	-			
	執行率(%)	-	100%	0%	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 27年度
	一般用医薬品販売サイトにおける薬機法遵守率の向上	一般用医薬品販売サイトの薬機法遵守率	成果実績	%	-	99.6	0	-	0
			目標値	%	-	100	100	-	100
			達成度	%	-	99.6	0	-	0
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 27年度
	一般用医薬品販売サイトにおける薬機法遵守サイト数の向上	一般用医薬品販売サイトの薬機法遵守サイト数	成果実績	数	-	1,658	0	-	0
			目標値	数	-	1,665	1,665	-	1,665
			達成度	%	-	99.6	0	-	0
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 27年度
	大臣が指定する濫用のおそれのある医薬品の販売に係る薬機法の規定の遵守率の向上	大臣が指定する濫用のおそれのある医薬品の販売に係る薬機法の規定の遵守率	成果実績	%	-	72.9	0	-	0
			目標値	%	-	100	100	-	100
			達成度	%	-	72.9	0	-	0
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 27年度
	大臣が指定する濫用のおそれのある医薬品の販売に係る薬機法の規定を遵守している薬局数の増加	大臣が指定する濫用のおそれのある医薬品の販売に係る薬機法の規定を遵守している薬局数(抽出調査による遵守薬局数)	成果実績	数	-	240	0	-	0
			目標値	数	-	329	329	-	329
			達成度	%	-	72.9	0	-	0
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	優良サイトの基準策定等に関する検討会回数	活動実績	回	-	4	0	-	-	
		当初見込み	回	-	3	4	-	-	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	多量・頻回購入の防止策等にかかる検討会回数	活動実績	回	-	3	0	-	
		当初見込み	回	-	3	3	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	X:「事業の執行額」(千円)/Y:「規格・基準等作成数」(件)	単位当たりコスト	千円	-	4,295	0	-	
		計算式	X/Y	-	8,589/2	0/0	-	

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由			
	衛生関係指導者養成等委託費	0	-				
	計	0	0				

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器を国民が適切に利用できるようにすること(I-6)							
	施策	医薬品の適正使用を推進すること(I-6-3)							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	
		目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	一般用医薬品のインターネット販売の安全性を確保するため、優良サイトの認定・認証制度の仕組みについて検討し、また濫用等の恐れのある品目がネットで購入しやすくなる懸念があることから、多量購入等を防止する取り組みについても検討し、これらの検討の結果を活用することにより、医薬品の適正使用の推進に寄与した。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は 医薬品の多量・頻回購入の防止、国民が安心して医薬品を購入できる優良サイトの基準の作成、認証の仕組み作りについて検討する事業であり、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は医薬品が安全に購入できる販売サイトの基準の策定、医薬品を多量・頻回に購入されることを防止する方策の検討であり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	平成25年12月に成立した改正薬事法等の施行を踏まえ、医薬品を安全に購入できる販売サイトの基準の策定、医薬品が多量・頻回に購入されることを防止する方策を早急に検討する必要があり、優先度の高い事業である。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	26年度においては公募により実施事業者を選定している。 27年度においては事業を実施していない。																	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無																		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無																		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者が当該事業を行う上で必要となる額を補助額として設定しており、負担関係は妥当である。																	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	本事業に必要なものに限定されており、単位あたりのコストは妥当である。																	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-																	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	費目・使途は、事業実施に必要なものに限定されている。																	
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	平成26年度において調査した一般用医薬品のインターネット販売サイトや濫用の恐れのある医薬品の販売時における薬機法の遵守状況についてはそれぞれ99.6%、72.9%となっており、高い遵守率となっていると評価できたため、27年度においては事業を実施していない。																	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	実施要綱を精査して、効率的な実施に努めている。																	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	26年度新規事業であるが、一般用医薬品のインターネット販売サイトや濫用の恐れのある医薬品の販売時における薬機法の遵守状況についてはそれぞれ99.6%、72.9%となっており、高い遵守率となっていると評価できたため、27年度においては事業を実施していない。																	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-																	
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	26年度の活動実績は目標を上回っているため、成果目標に見合ったものとなっている。27年度においては事業を実施していない。																	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	26年度に作成された報告書は、今後の医薬品の販売における問題点の解決にむけ、施策の立案に活用する。																	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省・部局名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>		所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
所管府省・部局名	事業番号	事業名																			
-	-	-																			
-	-	-																			
-	-	-																			
-	-	-																			
-	-	-																			
点検・改善結果	点検結果	平成26年度において調査した一般用医薬品のインターネット販売サイトや濫用の恐れのある医薬品の販売時における薬機法の遵守状況についてはそれぞれ99.6%、72.9%となっており、高い遵守率となっていると評価できたため、27年度においては事業を実施していない。																			
	改善の方向性	当該事業については26年度をもって既に高い遵守率となっていると評価し、事業廃止とした。																			
外部有識者の所見																					
点検対象外																					
行政事業レビュー推進チームの所見																					
終了予定	事業は当初の予定通りの成果を達成したため、平成27年度をもって終了すること。																				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																					
予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。																				
備考																					
関連する過去のレビューシートの事業番号																					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-																
平成25年度	-	平成26年度	新26-017	平成27年度	220																

